



GOOD NEWS と きの こ え



神が人の子らに
お与えになった
務めを見極めた。
神はすべてを時
宜にかなうよう
に造り、また、
永遠を思う心を
人に与えられる。
それでもなお、
神のなさる業を
始めから終りま

人間は神様を知る
ことのできる貴い
ものとして創造さ
れ、神様は常に人
間を心に留めてい
てくださるとい
う約束です。
同時に、聖書は
こう示しています。
「わたしは、
神が人の子らに
お与えになった
務めを見極めた。
神はすべてを時
宜にかなうよう
に造り、また、
永遠を思う心を
人に与えられる。
それでもなお、
神のなさる業を
始めから終りま

「二人の目は開け、自
分たちが裸であることを
知り、二人はいちじくの
葉をつづり合わせ、腰を
覆うものとした。」(創世
記3章7節)
神様のみが知ることを人
間が超えようとして犯した、
最初の失敗でした。人は、
この罪によって、愛すべき
存在にも互いを隠すような
生き方をしなければならな
くなったのです。
イエス・キリストは、こ
の人間の罪をご自分の身に
負って十字架で死なれ、復
活されました。私たちは、
神様の御業をすべて理解す
ることはできません。けれ
ども、イエス・キリストを
信じる時、十字架の死の後
に復活があるように、すべ
ての理解しがたい出来事の
先に救いがある、という希
望を抱くことができます。
災害や毎日のように報じ
られる悲しい事件、「なぜ
こんなことが……」とい
う現実の中にも、イエス・キ
リストによる神の救いの力
によって、それぞれの場所
や心に「復興」「回復」が
あるよう願ってやみません。
そのお手伝いをさせていた
だきたい、と祈りつつ、救
世軍は働きを進めておりま
す。
(救世軍士官(伝道者))

War Cry

8月号

福音版
2019
August
No.2787

理解できない現実の中に

西村 保

このところ毎年、各地で
大きな災害が続いています。
そのたびに大変痛ましい思
いを抱きながらも、次から
次へと続くことで、私たち
の感覚が追いついていかな
い、というのが正直な思
いではないでしょうか。
特に、すでに被害を受け
られ、復興に苦労されてい
るところに、追い討ちをか
けるかのように災害が起こ

ると、被災された方々のこ
とを思い、やりきれない、
いたたまれない思いにさせ
られます。
生命を奪われること―こ
れほど大きな苦しみはなく
なぜ、このようなことを神
様はなさるのか? と人間
の知恵では理解しようとし
ても、できないことがたく
さんあります。
聖書はこう告げています。

「あなたの天を、あな
たの指の業を わたしは
仰ぎます。月も、星も、
あなたが配置なさったも
の。そのあなたが御心に
留めてくださるとは 人
間は何ものなのでしょう。
人の子は何ものなのでしょう。
あなたを顧みてく
ださるとは。」(詩編8編
4、5節)

「あなたを顧みてく
ださるとは。」(詩編8編
4、5節)
人間は神様を知る
ことのできる貴い
ものとして創造さ
れ、神様は常に人
間を心に留めてい
てくださるとい
う約束です。
同時に、聖書は
こう示しています。
「わたしは、
神が人の子らに
お与えになった
務めを見極めた。
神はすべてを時
宜にかなうよう
に造り、また、
永遠を思う心を
人に与えられる。
それでもなお、
神のなさる業を
始めから終りま

「二人の目は開け、自
分たちが裸であることを
知り、二人はいちじくの
葉をつづり合わせ、腰を
覆うものとした。」(創世
記3章7節)
神様のみが知ることを人
間が超えようとして犯した、
最初の失敗でした。人は、
この罪によって、愛すべき
存在にも互いを隠すような
生き方をしなければならな
くなったのです。
イエス・キリストは、こ
の人間の罪をご自分の身に
負って十字架で死なれ、復
活されました。私たちは、
神様の御業をすべて理解す
ることはできません。けれ
ども、イエス・キリストを
信じる時、十字架の死の後
に復活があるように、すべ
ての理解しがたい出来事の
先に救いがある、という希
望を抱くことができます。
災害や毎日のように報じ
られる悲しい事件、「なぜ
こんなことが……」とい
う現実の中にも、イエス・キ
リストによる神の救いの力
によって、それぞれの場所
や心に「復興」「回復」が
あるよう願ってやみません。
そのお手伝いをさせていた
だきたい、と祈りつつ、救
世軍は働きを進めておりま
す。
(救世軍士官(伝道者))

二〇一九年 八月一日発行

明治二十八年 創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

除く七月

創立者 ウィリアム・ブース

大将 フライアン・ペドル(万国本営)

英国 ロンドン

日本司令官

ケネス・メイナード(救世軍本営)

東京都千代田区

http://www.salvationarmy.or.jp



世界をみつめて

〈日本〉山室軍平シンポジウム開催

6月6日(木)、岡山市の山陽新聞社さん太ホールで、連続シンポジウム「慈愛と福祉の先駆者たち」(山陽放送学術文化財団主催、岡山日蘭協会共催、山陽新聞社など後援)第5回「社会鍋と救済事業 地の塩となった社会事業家 山室軍平」が開催されました。岡山四聖人(石井十次・留岡幸助・山室軍平・アリス・ペター・アダマス(2、3ページ参照)の一人に数えられる山室の記録動画も上映され、二人の研究者が講師を務めました。室田保夫・京都ノートルダム女子大特任教授は、山室の生い立ちから救世軍に出会うまでの遍歴と救世軍においてなされた社会の最下層にあった人々への無私の救済活動について語りました。林葉子・同志社大助教は、明治・大正期の世界的な女性の人身売買の状況と、日本で山室と救世軍の果たした、遊郭で働く女性の「自由廃業」とその後の自立支援について語りました。300人収容のホールがほぼ満席でのシンポジウムとなりました。



写真提供(公財)山陽放送学術文化財団

〈インドネシア〉地震の被災地で大会

昨年9月に、地震と津波で大きな被害を受けたスラウェシ島パルのサッカーグラウンドで、救世軍万国総督フライアン・ペドル大将を迎え、インドネシアの救世軍125周年を祝う大会が開催されました。約17,000人の救世軍の信徒をはじめ

め多くの人々が集い、地元のイスラムドラムのバンド演奏や、125人の子どもたちによる合唱が披露されました。地元の首長も参加する中、震災と津波の被害を免れた人々による信仰の証言がなされ、大将のメッセージに込めて多くの人々が祈りを献げました。

大会前、大将一行は被害を受けた地域を視察し、再建された3カ所の救世軍の小隊(教会にあたる)や、災害直後自覚ましい医療支援を展開した救世軍ウッドワード病院で交流の時をもちました。大会後、大将はジャカルタで士官候補生(神学生)の任官・任命式を司式し、新しい32人の士官をそれぞれの地に任命しました。



〈フランス〉記録的暑さの中での支援
6月末に45℃の気温を観測したパリ。救世軍は、無料の帽子や日焼け止めクリーム、飲料水や、街中の水道水を入れることのできる容器を配布して、熱中症などから守られるための支援をおこなっています。給食活動をしているデイセンターに来る街頭生活者や支援の必要な移民に、熱中症対策についての情報も伝え、特に高温の中でのアルコールの摂取や、高温の屋外で寝てしまうことは命の危険があることなど、注意を促しています。高温の時間帯に救世軍の施設で街頭生活者が過ごせるような配慮もなされています。



救世軍とは? What is The Salvation Army?
心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は、イギリスに国際本部を置く、世界131の国と地域で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865年、英国のメソジスト教会の牧師であったウィリアム・ブースによって始められ、家のない人々、仕事に就けない人々、アルコールの悪影響の中にある人々、搾取される女性や顧みられない子どもたち、災害に遭った人々などに助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えてきました。

日本での働きは、1895(明治28)年に始まり、伝道の拠点である小隊(教会にあたる)を開設。廃娼運動、失業者対策、病院や結核療養所の設立、児童や女性の保護、アルコール依存症者回復支援など、時代にさきがけて、様々な働きを興してきました。日本人で最初に救世軍士官(伝道者)となったのは、山室軍平です。キリスト教界だけでなく、社会福祉における先駆者の一人にも数えられています。

ブリティッシュスタイルのプラスバンド
ウエリントン・シタデル・バンド
2019 来日ツアー (11月30日~12月10日)
仙台・北海道・東京
詳細は救世軍本営伝道事業部にお問い合わせください

発行日及び定価
福音版・毎月一日発行
広報版・奇数月十五日発行(除く七月)
定価
福音版・二部 四〇円
広報版・二部 一〇〇円
クリスマス特集号(十二月一日号) 一部 一〇〇円
振替・〇〇一八〇五四〇〇

発行所 救世軍本営
印刷所 ビーアンドエス

(取扱支部)
救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではお祈りしません。これらの問題ではお祈りの方は、右救世軍にご相談ください。

聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会

でも喜んでくれていました。岐阜大学医学部に進学し、岐阜華陽教会に通いました。当時万博キリスト教館やベトナム反戦の問題などありましたが、毎週もたれてい祈禱会での女性の老信徒の信仰姿勢に教えられ、さらに、教会学校教師や、青年会活動を通して、生涯の伴侶が与えられました。

卒業後は岡山大学第三内科で臨床研修と免疫学の研究をさせていただきました。当時、三人の年子が与えられ、育児にも参加し、慌ただしい毎日ながら充実した日々を楽しみました。呉共済病院に一年余り勤務した後、博愛会病院分院に勤めることとなりました。

アダムス先生の遺言で、働きにおいて毎日祈りを欠かしてはならない、という教えがありました。ずっとそれを忠実に守っておりましたが、ある時から毎朝の礼拝を全館で放送することにしました。聞いている方に少しでもわかっていただけるような礼拝を、と有名な聖書の言葉を中心に神様の愛を伝えました。また、ラジコ牧師やテレビ伝道者ゴスペル歌手もお招きし、これは職員にも好評でした。

このころ、PTLクラブ(当時活動していたテレビ伝道

団体)の岡山放映が始まり、番組に招かれたこともあり、ます。その時には、聖書の「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」(ヨハネによる福音書3章16節・新改訳聖書)の言葉を中心に選び、お話ししました。この言葉は、「聖書の中の聖書」と言われています。病院には、看護学、栄養学を学ぶ学生が実習に来ますが、皆さんにゴデオン協会(聖書頒布団体)の聖書をさし上げ、この言葉について解説して、「あなたには十字架の命がけの愛が注がれている」とお話しします。「世」に自分の名前を入れて読んでみるようお勧めし、「あなたは神に愛されている」ということを告げるのは、私にとって喜びです。

ある時には、厳しい修行を積んだ熱心な仏教徒が入院され、同室の患者を訪ねてくるクリスチャンの姿や賛美歌や祈りに感化された。「私も天国に行きたい」とそれまで大切に飾っていた仏教関係のもの一切の処分を頼まれたことがあります。その方は、熱心なクリスチャンとなりました。



アダムス先生が岡山に来られた当時、貧困に苦しむ多くの人がいました。不衛生と教育機会のない子ども、戦後の混乱期を経、資本主義経済の発展と共に、必然の結果として社会格差、地域格差が広がり、人々が慎ましい暮らしから脱却する中、社会から振り落とされ、人々の救済が問題となりました。そして今、一番の問題は、高齢で病を抱え、様々な重い障がいや苦しむ方々が一人で暮らしているという事です。戦後、日本は軍事強国から福祉国家を目指したはずですが、経済成長の不振から福祉医療の制限が始まりました。アダムス先生の頃には福祉制度はなく、博愛会は、慈善事業で、アメリカン・ボード宣教師団からの事業資金とアダムス先生の生活費、皇室からの御下賜金と自治

体の補助や支援者からの寄付が支えていた。現在、十分な福祉予算により、形はできているものの、現場で働く者には多くの問題があります。社会のひずみも解決し、一人ひとりの生活を体と心と魂から支えることは「愛」であり、希望を失い、悲しみの中にある人を支えるのは、「あなたに愛されている」ことを伝える、その人と共に問題を解決する働きかけでありましょう。これからますます格差が広がり、少子高齢化が進む現実を考えると、希望がないように思えます。だからこそ、神の愛が解決の鍵となる、と信仰的楽観主義を貫いています。

五年前、博愛会の将来を託そうと願っていた長男を突然死で天に送りました。医師として経験を積み、そろそろ託したい、と思っていた矢先の出来事でした。聖書の「主は与え、主は取られる」というヨブ記の言葉どおりの経験でした。しかし、それでも神様の真実の愛を信じています。医師である娘の伴侶も医師ですが、今、彼が病院長の任を

行機の来襲を皆に知らせようとして二階の窓から転落し、七歳で亡くなりました。父は戻ること許されず、母が一人で葬儀を出しました。それは家族にとって本当に辛い経験でした。喪失と悲しみの中で迎えた終戦。父は復興のために全力を尽くしました。当時の岡山県知事がクリスチャンで、復興のため、と父は県の役職に命じられました。戦後の混乱期には、焼け野原で土地の不法占拠が行われていました。父は、空襲で全焼した救世軍岡山小隊(教会にあたる)の土地に

私が九歳の時です。博愛会七十五周年の記念講演のために賀川豊彦先生が私の家に泊まりました。父から良い機会だから先生より洗礼を受けたらどうか、と話があり、直ちにお願いました。受洗記念の聖書に日付と賀川先生の署名があります。幼い頃から日曜日は、教会の日。ちよつと窮屈な思いもしましたが、教

私が九歳の時です。博愛会七十五周年の記念講演のために賀川豊彦先生が私の家に泊まりました。父から良い機会だから先生より洗礼を受けたらどうか、と話があり、直ちにお願いました。受洗記念の聖書に日付と賀川先生の署名があります。幼い頃から日曜日は、教会の日。ちよつと窮屈な思いもしましたが、教

「私の近くの救世軍を紹介してください。」
 「キリスト教についてもつと知りたいです。」
 「『ときのかえ』の購読を申し込みます。」

ご住所

「ラビング・オール」から名付けられた博愛会の理念は「自分のして欲しいように人にしてさし上げる」です。博愛会の医療、介護、保育の働きのすべての土台には、イエス・キリストの「自分がして欲しいようにあなたの隣人にもそのようにしなさい」、「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」という言葉があるのです。(写真左下・弟子の足を洗うイエス。病院入り口に掲げられている)

人々により良くお仕えるために、新しい働きにも挑戦しています。ロボットによる遠隔診療も二年前から試みているところです。

アダムス先生は、昭和十一年末、末期の乳がんの痛みに耐えながら、四十五年間育てた博愛会を若輩の父良夫に託し、帰国。その時父に伝えた言葉は、「私はいつも新約聖書のローマ書の一二章を暗唱していました。この言葉すべてをあなたに残します」でした。アダムス先生は翌年米国で天に召されました。今も博愛会は、ことあるごとにこの聖書の言葉と祈りを欠かしておりません。神の愛による献身と奉仕が、常に私、そして私たちのテーマです。

この部分を封書か葉書に貼り、裏面の下の救世軍にお送りください。

信仰の体験談・証言のページ

主の栄光を語り伝えよう

2019
 Declare
 His
 Glory

社会福祉法人岡山博愛会 理事長
 更井 哲夫



日本で最初のセツルメント活動「博愛会」を創立者アリス・ペター・アダムス宣教師から受け継いだ更井良夫牧師の長男として生まれる。内科医。医学博士。専門は膠原病とリウマチ学。岐阜大学医学部卒業後、岡山大学医学部、呉共済病院、岡山博愛会病院分院勤務を経て、1998年より現職。(日本キリスト教団岡山博愛会教会所属)

「ラビング・オール(すべての人を愛する愛)」の働きの中に生を受けて

父良夫は、同志社大学神学部を卒業後、伝道者として上海日本人教会に派遣されました。現地で、救世軍の山室軍平先生や、賀川豊彦先生に親しくしていただいていたようです。

父の出身地岡山には、岡山博愛会(二八九一年創立)という、日本で最初の地域改善のためのセツルメントがありました。創立者のアリス・ペター・アダムス女史(写真右下)は、宣教師として二十五歳の時に米国から来日。四十五年間、岡山の貧困地域で児童教育、職業訓練、保育、医療と人々のニーズに応えるセツルメントの働きをしておられました。ところが、末期乳がんを患い、後継者を求める中、父に白羽の矢が立ったのでした。アダムス女史は、父が参加していた牧師会に直接訪ねてこられ、涙ながらに父を説得されたそうです。昭和九年、父は二十六歳で博愛会を引き継ぎました。

アダムス先生は、日本でも勲章をいただきました。二度も晩年米国からの経済支援が絶たれても、事業支援のお願いに一軒一軒訪問すると、手ぶらで返すわけにはいかない、となにがしかの支援をいただくことができていました。けれども、父が責任者になった途端、そういった支援のお願いは門前払い。当時を知る近所の八百屋さんの話では、両親は味噌をつけて買って、それをわざわざご飯を食べるような生活だったそうです。また、時代は日支事変、太平洋戦争に突入。さらに父が海軍に召集され、岡山大空襲で施設が焼失、と苦難の中に置かれました。戦中は、同志社女子専門学校出身の母が、女手一つで教会と博愛会と子育てに尽くしました。アダムス先生から受け継いだ毎朝の祈禱会も欠かさなかったそうです。この時、私の姉が米軍の飛

行機の来襲を皆に知らせようとして二階の窓から転落し、七歳で亡くなりました。父は戻ること許されず、母が一人で葬儀を出しました。それは家族にとって本当に辛い経験でした。喪失と悲しみの中で迎えた終戦。父は復興のために全力を尽くしました。当時の岡山県知事がクリスチャンで、復興のため、と父は県の役職に命じられました。戦後の混乱期には、焼け野原で土地の不法占拠が行われていました。父は、空襲で全焼した救世軍岡山小隊(教会にあたる)の土地に

私が九歳の時です。博愛会七十五周年の記念講演のために賀川豊彦先生が私の家に泊まりました。父から良い機会だから先生より洗礼を受けたらどうか、と話があり、直ちにお願いました。受洗記念の聖書に日付と賀川先生の署名があります。幼い頃から日曜日は、教会の日。ちよつと窮屈な思いもしましたが、教

私が九歳の時です。博愛会七十五周年の記念講演のために賀川豊彦先生が私の家に泊まりました。父から良い機会だから先生より洗礼を受けたらどうか、と話があり、直ちにお願いました。受洗記念の聖書に日付と賀川先生の署名があります。幼い頃から日曜日は、教会の日。ちよつと窮屈な思いもしましたが、教

私は戦後のベビーブーマーとして生まれ、戦後復興した博愛会の敷地で育ちました。博愛とは、アダムス先生の信念、英語の「ラビング・オール(すべての人を愛する愛)」の日本語訳です。

私は戦後のベビーブーマーとして生まれ、戦後復興した博愛会の敷地で育ちました。博愛とは、アダムス先生の信念、英語の「ラビング・オール(すべての人を愛する愛)」の日本語訳です。

高校三年の時、進路に迷いました。もともと理系に進みたいと思っていましたが、思い切って医学部に進むことを決断しました。博愛会は戦後、当時最も必要とされていた産科医療、結核医療を働きの中心にしていました。医学部に進むことが決まった時には父はと

